

コース別履修モデル〈国際関係コース〉

ここでコース別の履修モデルを紹介し、履修計画を立てる参考にしてください。もちろん、興味や希望する進路、また専攻地域や専攻言語によって履修内容は人それぞれです。自分なりの外大生活を組み立ててください。

※モデル内で紹介された授業科目名は 2018 年度から 2024 年度までの授業時間割に基づきます。年度によって、当該授業が開講されない場合や開講学期が異なる場合、科目名が変更される場合もあるので注意しましょう。言語科目と地域基礎科目は専攻地域によって履修方法が異なります。詳細は履修案内等を確認しましょう。教養科目は 1 年次・2 年次にそれぞれ 4~5 コマずつ履修すると良いでしょう。留学は制度によって、在学期間 4 年で卒業できるケースと、そうでないケースがあります。詳細は留学案内を確認しましょう。

国際関係 コースの履修モデル International Relations

1~2 年次：専攻語の運用能力を高めると同時に、専攻地域に応じた「地域基礎」を必ず履修し、地域の歴史・社会を詳しく学びます。導入科目を広く履修し、幅広い土台作りを心掛ける時期でもあります。

3~4 年次：それまでに修得した語学を武器に、地域に関する知識を深めつつ、ゼミを中心に「専門知」に磨きをかけていきます。多くの学生が留学プログラムに参加するなど、「専門知」の学びの場は世界に広がります。

言語能力を高める授業
地域への理解を深める授業
専門知を究める授業
基礎的教養を身に付ける授業

Model	1 年生				2 年生				3 年生				4 年生			
	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬
Model 1 オセアニア地域 × 国際法 先住民の権利の問題を SDGs の観点から考えたい！	専攻言語 I (英語 I) GLIP 英語				専攻言語 II (英語 II) 諸地域言語				教養外国語 (フランス語) 「先住民 (族) からみる」「先住民」から考える				教養外国語 (イタリア語) カナダの歴史			
	オセアニア地域基礎 オセアニアの歴史と社会 (1)(2)				周縁から考えるグローバル・ヒストリー				国際秩序論 国際法 I・II 国際法事例研究 グローバル環境ガバナンス				実務的側面から見た国際機関 開発経済学 比較福祉政治 現代社会論			
	法学 レイシズム・スタディーズ入門				地域社会と SDGs ミクロ経済学入門 グローバルスタディーズの経済思想史 Theory and Practice of United Nations				留学 メルボルン大学 (豪)							
基礎リテラシー・基礎演習 教養科目				教養科目 国連スタディーツアー				専門演習 「国際法演習」				卒論演習 卒論テーマ～先住民の権利保護と持続可能な開発～				
Model 2 南アジア地域 × 国際政治 外交官として日本と外国を繋ぐ架け橋になりたい！	専攻言語 I (ヒンディー語 I) GLIP 英語				専攻言語 II (ヒンディー語 II) GLIP 英語				専攻言語 III (ヒンディー語 III)				教養外国語 (アラビア語)			
	南アジア研究入門 1 南アジア研究入門 2 パキスタン研究入門 1				南アジア研究入門 1 南アジア研究入門 2 パキスタン研究入門 1				アフガニスタン・パキスタン 近現代政治社会史 1・2				インド・パキスタン分断独立論 1・2 アラブ地域政治事情			
	国際政治学入門 政治学原論～倫理と政治				国際政治学入門 世界史を開く 政治学原論～倫理と政治				国際法概論 歴史認識 国際法 I・II				紛争解決 ゲーム理論 1 ヨーロッパ国際関係史			
基礎リテラシー・基礎演習 教養科目				教養科目 国連スタディーツアー				専門演習 「国際協調」				卒論演習 卒論テーマ～インド太平洋をめぐる国際政治～				
Model 3 東南アジア第 2 地域 × 経済 グローバル・バリューチェーンの課題について考えたい！	専攻言語 I (タイ語 I) GLIP 英語				専攻言語 II (タイ語 II) 教養外国語 (中国語)				専攻言語 III (タイ語 III) 教養外国語 (中国語)				教養外国語 (朝鮮語)			
	タイ研究入門 1・2 東南アジア研究入門				地域社会と経済生活 現代東南アジア経済論				ラオス経済論 タイ政治経済論				現代中国経済論 1・2			
	ミクロ経済学入門 マクロ経済学入門				国際政治学入門 貿易と直接投資 国際金融概論				フィア史の探究 開発経済学 国際経済学 1 ビジネス法 ラテン・アメリカの経済発展と開発経済学				留学 チュラーロンコーン大学 (泰)			
基礎リテラシー・基礎演習 教養科目				教養科目				専門演習 「国際経済論」				環境保全論 1 国際経済学 2 開発経済学と東南アジア地域研究				

● は地域基礎 (必修)、● は地域社会研究コース、● は現代世界論コース、● は国際関係コースで開講されている授業を指します。丸印のなかの「入」は導入科目、「概」は概論科目、「専」は専門科目を意味します。

履修計画を立てるときのポイント

1. 時間割を詰め込みすぎない！（大学の授業は予習・復習・課題がもれなくついてきます。特にアクティブラーニングは提出時期が重なることが多いので要注意！）
2. 進級に関わる必修科目・卒業所要単位数に注意しよう！（専攻地域・専攻言語によって異なります。入学年度の履修案内を熟読しよう。）
3. 導入科目は 3 コースからバランスよく学ぼう。
4. 教養外国語は 2 年生からの履修がおすすめ（新しい外国語を複数学ぶのは大変…まずは専攻言語にしっかり取り組もう。）
5. シラバス検索の「キーワード検索」を活用しよう。
6. 長期的な履修計画を立てよう。